



三條北ロータリークラブ週報

ENJOY ROTARY!

ロータリーを楽しもう!

国際ロータリー会長 ヒュー M. アーチャー 第256地区ガバナー 吉野一郎

例会日
1989. 9 . 26
累計 No 141
当年 No 12

会長/平松利朗

幹事/稲田憲治

SAA/笹原勝治

例会日/火曜日 PM12:30~1:30

例会場/三條ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局/三條市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事: 会員卓話「友情」江口 悟君

出席: 本日の出席 48名中31名

先週の出席率 48名中39名 81.25%

先週のメイクアップ: 9月23日 巻RCへ 吉川吉彦君 河井増雄君 小林 満君 味方義一君
村山誠一君 梨本清一君 稲田憲治君 笹原勝治君
山上茂夫君 粉川昭蔵君

9月24日 新井RCへ 稲田憲治君

9月25日 三條南RCへ 樋口金占君 米山忠俊君 石川勝行君

ビジター: 三條RCより 山本福七君 五十嵐総一君 近藤雄介君

三條南RCより 宮原正徳君

会長挨拶: 平松利朗

先週末は「秋分の日」「日曜日」と連休となりましたが、皆さんはいかがお過ごしになりましたか。私は前日の秋分の日が女子社員の結婚式に出席、翌日の日曜日は久しぶりの晴天に誘われて近くの「栗ヶ岳」へ登山に出掛けました。ところで23日の秋分の日が巻RCの認証状伝達式の日でありました。私は都合で欠席となりましたが、巻RCは256地区で80番目の誕生となる訳ですが、79番目の三條北RCとしては、末っ子からいよいよ本当の意味で「お兄さん」となった訳であります。さて、最近の結婚式ですが、一頃はやった奇抜な仕掛けが姿を消し、大分落ち着きを取り戻した様であります。また披露宴のやり方も新郎新婦の友人たちが知恵を出し合って、心のこもった演出をし「手作りの」お祝いをしてあげようとゆう気持ちが伝わって来て、はじめて見てもほほえましく気持ちの良いものであります。ただ、私は最近新郎新婦を見るよりも、その親ごさんはどんなお気持ちだろうと、「親の心情」を思いやり、感慨にふけることが多くなったように思います。

幹事報告: 稲田幹事

なし

ニコニコボックス：

- 平松利朗君 来週の出席率アップを期待して。
- ゴルフ同好会 9月21日ゴルフコンペでのペナルティーの総額です。最多ペナルティーは準優勝の洸岡君でした。
- 小林満君 1週間前に高速道路で事故を起こしてしまい、自動車はメチャクチャでスクラップです。私はカスリ傷も無く無事でした。2台巻き込んだんですが2台の運転者も無キズです。悪運と強運に感謝して。
- 樋口金占君 還暦を記念しての北欧（家内同伴）十日間の旅行無事帰国を感謝して。
- 佐藤義英君 先日の北クラブのコンペで優勝させていただきました。次回も優勝します。
- 江口悟君 卓話をする人はニコニコボックスへ。
- 鈴木英友君 先日のコンペ忘れていまして大変失礼いたしました。ペナルティーとして!!
- 村山誠一君 巻ロータリークラブ認証状伝達式で大変楽しい一夜でした。
- 稲田憲治君 23日巻、24日新井と楽しい日々連続です。巻の帰りは「さどや」さんでドンチャンさわぎでした。皆、酔いました。今日は江口君の卓話楽しみです。
- 味方義一君 江口君の卓話楽しみに。
- 堀川正幸君 作日兄と富山まで行って霊水をいただいて来ました。感謝の気持を一口。
- 阿部誠一郎君 前週欠席したので。
- 芦田義重君 スナックで山崎さんにバッタリ逢って、飲んだいきおいで財団BOXじゃなくてニコニコBOXに入れる約束をしてしまいました。男の約束で一口。
- 本間建雄美君 先週、同年の旅行、天候不順にも負けず無事帰宅出来ました。年を感じます。
- 梨本清一君 江口君の「友情論」に期待します。
- 早川滝雄君 江口君の卓話楽しみにしております。
- 今井克義君 2分遅れの遅刻です。すみません。質問を1つ。仮に15分遅れてきて例会終了まで出席した場合は、やはり出席扱いでしょうか？どなたか教えて下さい。
- 答 3分の2以上の出席でOK。
- 山崎勲君 昨日、今日と楽しいことが続いております。

米山奨学：

- 樋口金占君 旅行より無事帰宅を感謝して。
- 落合益夫君 早川委員長1年間頑張ってください。

卓話： 「友情」江口 悟君

2日酔いの江口で御座います。昨日から岩室でお客様の接待があり先程帰ってまいりました。会社に戻りましたら、研究開発の26歳の男性と24歳の女性事務員が私の所に来まして『実は12月10日に結婚式を挙げます』と言う報告がありました。又、社内恋愛かと現在70名近くの従業員で平均年



齢27歳弱ですから、まあ仕方ありません。『最初は友達つきあいから、愛情へ……』ぬけぬけとよく言うよ、愛情の中にもいろいろありまして、夫婦の愛情、親子の愛情など、今日はそんな中で兄弟の愛情について少しお話をさせていただきます。我社は3歳年上の兄貴が社長、2歳年下の弟が製造責任者の本部長、私が営業総括の専務という同族企業でありまして、特に兄貴と私は典型的長男タイプと次男タイプという事もありまして気性も違い、考え方も小さいときから合わなかったわけです。今から11年前親父が突然病に倒れ入院して3日で他界してしまいました。必然的に長男が社長ということになります。1年程は会社の経営状態も危ないくらいでしたので、何とか力を合わせ切り抜ける事が出来ました。私は26歳で結婚し月給11万、生活が掛かってまいります。当時先代の社長が確か月給50万位だったと思います。そのまま兄貴が受け継いだ訳ですから3歳違いでその差は大きい、当時私は名古屋方面を営業で開拓をしており、味付けの部分で合った面もあり全戦全勝の勢い、ある繊維関係の資本家の社長が私に『月給30万の専務で食品の会社をやってみないか、資本はだす』という話を持ちあがり私もその準備をしておりまして。3ヶ月位たったある深夜、社長が一升ビンをぶらさげて来まして『お前が独立の準備をしているのは知っている。何も言わずにもう1年だけ一緒にやってみないか』と朝まで飲み明かしちょうど翌日が給料日、貰った袋の中身を見ると月給25万、社長の月給も25万、つまり社長給与をダウンして同額にした訳です。勿論ボーナスは無い訳ですが、当時の年齢としては相当なものです。その時社長が一言『たった今から兄弟の関係を断ち切ろう、これからは共同経営者として生きていこう』私どもは今企業に於いて決して公私混同する事無く、従業員の為にもファミリーイメージを一掃して行きたいと考えております。最後に長時間私のつまらない話を聞いて下さいました皆さんの気持ちこそが私にとって今日のテーマでもあります。最高の友情ではないだろうかと実感いたしました。話を終わりたいと思います。ご清聴有難うございました。

10月3日例会： 職業奉仕委員会より「最近の求人、就職事情について」

三条職業安定所所長 長沼 宏殿

10月10日例会： 休会

10月17日例会： クラブアッセンブリー「地区年次大会報告会」